

京都市新型コロナウイルス感染症対策（第3弾）

○市民，事業者の皆様の自粛行動の実践，医療・福祉等現場の第一線の皆様の御尽力により，緊急事態宣言が解除され，これから京都は，感染拡大防止策を講じつつ，段階的に社会経済活動を再開していく最も大切な時期

○これまで「**感染拡大防止策**」と「**市民生活・京都経済の下支え・支援**」を2本柱として事業を展開

第1弾 2, 288億円（4月補正）

第2弾 42億円（5月補正 当初提案）

⇒第3弾として，28億円の補正予算を追加提案し，取組を強化

感染拡大防止対策 7億6,100万円

○抗原検査の活用等による検査体制の拡充

○避難所における感染拡大防止対策

指定避難所等に配置する消毒液や非接触型体温計などの調達・備蓄

○学童クラブ利用自粛者への利用料金の支援 など

市民生活・京都経済の下支え 20億5,100万円

○京都市中小企業等緊急支援補助金の充実等

○伝統産業従事者、商店街等への支援

○中小企業等支援策活用サポートセンター（仮称）の設置

○京都市文化芸術活動緊急奨励金の充実

○学生の学び環境創出事業

本市経済対策の考え方

4月補正(第1弾) 深刻な影響が広がる中、中小企業等を幅広く対象とした事業継続支援

- ・本市独自の「京都市中小企業等緊急支援補助金」を創設
- ・中小企業等に対する実質無利子の融資制度を府市協調により新たに創設

5月補正(第2弾・第3弾)

中小企業等緊急支援補助金による幅広い事業者支援の充実と
特に支援の必要な伝統産業従事者等へのきめ細かい支援

1万件を超える事業者の皆さんからの申出を受け

中小企業等緊急支援補助金予算を大きく増額 10億円→25億円

販売機会が激減するなど、極めて厳しい状況に置かれている

伝統産業のつくり手、商店街などへの緊急的な支援 3億円

京都のものづくりや伝統文化、地域コミュニティを守るための支援を実施

中小企業等緊急支援補助金の充実等 15億円（総額25億4,500万円）

中小企業等を幅広く対象とした独自制度として4月補正予算で創設

- ・ 京都府の休業要請に伴う支援金の対象業種も含め、幅広い事業者を対象
- ・ 衛生対策や販売促進策など、具体的な事業継続等の取組を支援
(補助率 3/4～4/5 上限30万円)

申請件数 1万458件 (5月11日～15日受付)

6月から
支給開始

⇒ 申請いただいたすべての中小企業・事業者（補助対象者）に、
最大30万円、原則満額で補助（審査あり）

※ 令和元年度2月補正予算で創設し、4月に募集した京都市観光事業者等緊急支援補助金（260件）も、最大30万円、実績どおり、
減額することのないよう追加交付（2,600万円）

〔令和元年度2月補正4,500万円→4月補正後10億4,500万円
→5月補正後25億4,500万円〕

伝統産業つくり手支援・和装産地支援 1億9,000万円

催事・行事等の販売機会が激減，かつてない深刻な状況

⇒分業を生業とする職人に直接支援が届くよう，
緊急的に仕事を創出

伝統産業つくり手支援事業 1億4,000万円

伝統産業（74品目）に携わる個人・グループ・団体に
新商品・新素材・新技術の開発費用を支援

補助率 9/10 （個人・グループ）上限40万円
（団体）上限100万円

販路開拓支援

- ・ふるさと納税の返礼品
- ・展示会への出品
- ・オンラインショップ
「みやび」での販売 など

和装産地支援事業 5,000万円

西陣織工業組合，京友禅協同組合連合会等の産地組合に
きもの・帯の新規製造を発注

着付体験等学校教材や
M I C E等で活用し，
伝統文化の継承へ

スタートアップによる新型コロナ課題解決事業 4,000万円

スタートアップ・ベンチャー企業は、課題解決のための新しい技術・アイデアを持っているが、コロナウイルス感染拡大により資金調達が難しく、その実現に課題

⇒京都のスタートアップ・ベンチャー企業が持つ優れた技術・アイデア・ネットワークを活かし、医療・福祉・教育・文化等、あらゆる分野における社会課題の克服・市民生活の向上へつなげるための補助金を創設

対象事業：創業10年未満のスタートアップ企業、京都市企業認定制度認定企業等が行う、コロナウイルスの拡大により顕在化した社会課題の解決に資する取組

補助率：4/5 補助金額：上限100万円

- <取組例>
- ・遠隔診療に係る新たなシステムの構築
 - ・健康管理のためのアプリのシステム開発
 - ・オンライン学習、スキルアップのためのシステムの開発
 - ・オンラインでの美術・工芸品の鑑賞システムの開発 など

中小企業等支援策活用サポートセンター（仮称）の設置 5,000万円

行政書士等による，本市・国・府の新型コロナウイルス感染症関連の各種支援メニューの案内，申請手続きのサポートなどを行う総合相談窓口を開設

新たに伝統産業，商店街等の補助制度を創設することに合わせて，中小企業や個人事業主の皆さんが，本市・国・府が構築している様々な支援策を適切に選択し，申請手続きなどを円滑に行えるよう，専門家等が相談に応じる総合相談窓口を開設

相談場所：市内各所へ巡回（事前予約制）

開始時期：6月中旬（土・日含む）

京都市文化芸術活動緊急奨励金の充実 2億円（総額3億円）

展覧会・公演等の中止・延期が相次ぎ，制作・発表の機会が失われている文化芸術の担い手の活動を支援するため，現下の情勢において実施できる文化芸術活動を募集し，審査のうえ，奨励金を交付する制度を4月補正予算で創設（奨励金額：上限30万円）

申請件数 1, 071件（5月7日～17日受付）

⇒ 本事業の趣旨に御賛同のうえ，いただいた寄付金も活用して，より多くの方に支援を届けられるよう予算額を3億円規模に充実

寄付金総額5,000万円（株）コーエーテクモゲームス，（株）トーセ

〔4月補正5,000万円→5月当初提案後1億円→5月追加提案後3億円〕

学生の学びの環境創出事業 1,100万円 (大学コンソーシアム京都の予算1,000万円 合計2,100万円)

<学生支援のこれまでの主な取組>

- ・京都市わかもの就職支援センターにおける相談
- ・経済状況が悪化した学生を支援するため非常勤職員を臨時募集：70名に対して100名以上の応募（学校の部活動等でご支援いただく学生を新たに100名募集中）

〔補正予算〕キャンパスプラザ京都内に、オンライン授業や自習等に利用できる、Wi-Fi環境完備の学習スペースを開設し、その運営スタッフとして、学生アルバイトを雇用

京都市

- ・貸出用パソコンを配備（20台）
- ・学生アルバイト（10人／日）を雇用
⇒パソコンの貸出業務、学習支援等

大学コンソーシアム京都

- ・150人分／日の学習スペースを確保
- ・Wi-Fi環境の整備



学生

キャンパスプラザ京都内に開設した学習スペースを活用し、

- ・オンライン授業の受講
- ・Wi-Fi環境を活用した自習

<学習スペース開設期間>

6月上旬～8月末（9時～21時）
※土日祝及び閉館日の月曜日含む